

不登校総合対策「つながるプラン」を策定 ～みんなが八王子の宝～

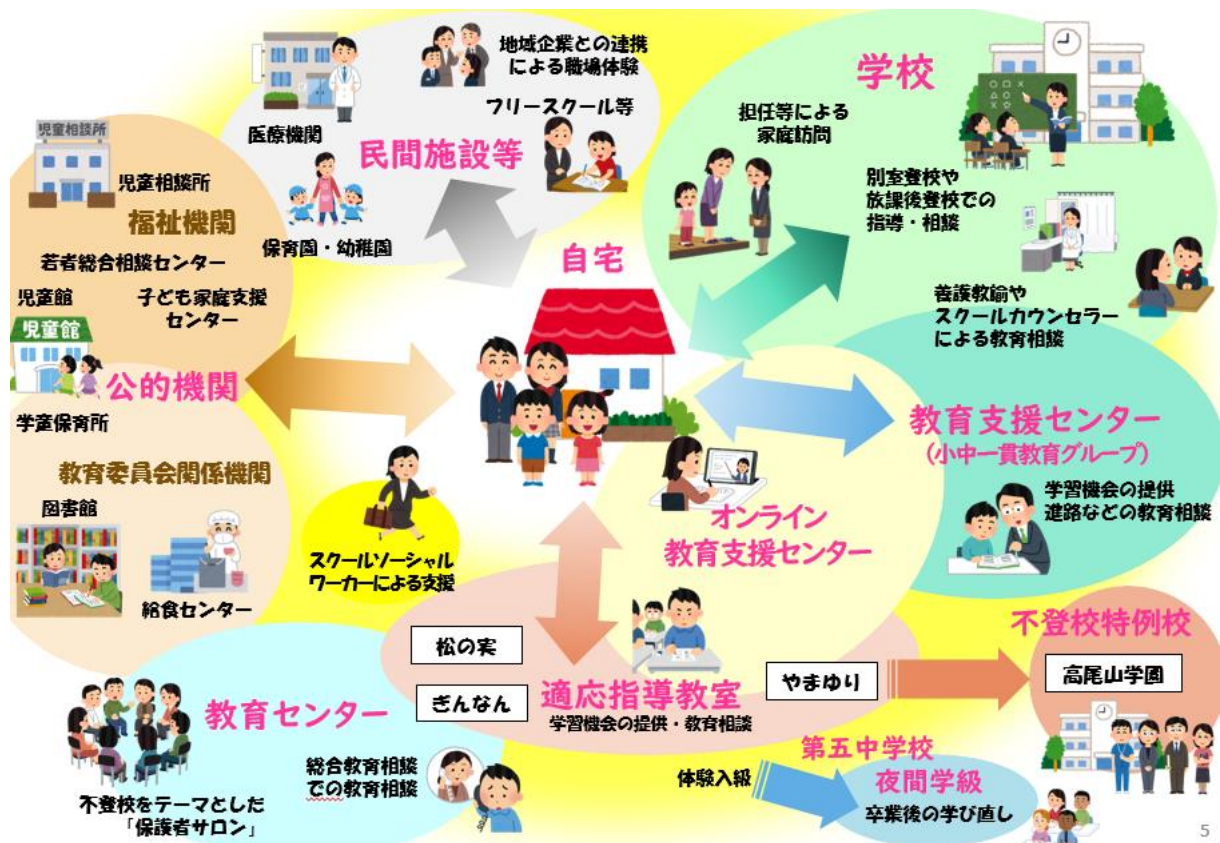
現在、全国的に不登校児童・生徒数が増加しており、社会的な問題となっています。本市でも平成29年度の約500人に比べ、令和3年度には約1,500人と増えています。

そこで、この喫緊の課題に対応するため、令和5年度からの5か年計画として、八王子に生まれ育つ子どもたち「みんなが八王子の宝」を合言葉に、不登校対策の方向性を示した「つながるプラン」を策定しました。

1 「つながるプラン」の達成目標

- (1) 専門的な指導・相談等を受けていない不登校児童・生徒を「0」にする
- (2) 中学校卒業後に希望進路をもつ生徒の進路未決定者を「0」にする

2 「つながるプラン」でつながる支援のイメージ



3 「つながるプラン」のめざす姿（4つの方向性）

（1）学びがつながる～魅力ある学校づくり～

みんなが安心して豊かな生活を送る学校づくりをとおして、学びの継続性を保障します。

- ・校内別室指導支援員の配置（補正予算にて対応） など

（2）支援がつながる～支援ニーズの早期把握と組織対応～

一人ひとりの不登校児童・生徒の状況と支援ニーズを組織的かつ的確に把握し、最適な相談・指導につなぎます。

- ・スクールソーシャルワーカーの増員
- ・登校支援コーディネーター研修の開催 など

（3）社会とつながる～多様な教育機会・居場所の確保～

学校外の居場所や学びのネットワークにより、様々な支援ニーズをもつ不登校児童・生徒が社会とつながる機会を確保します。

- ・不登校特例校の高尾山学園の指導や支援のノウハウを市内の学校等に共有
- ・不登校担当非常勤教員の配置
- ・給食センター、学童保育所、図書館等との連携による居場所づくり など

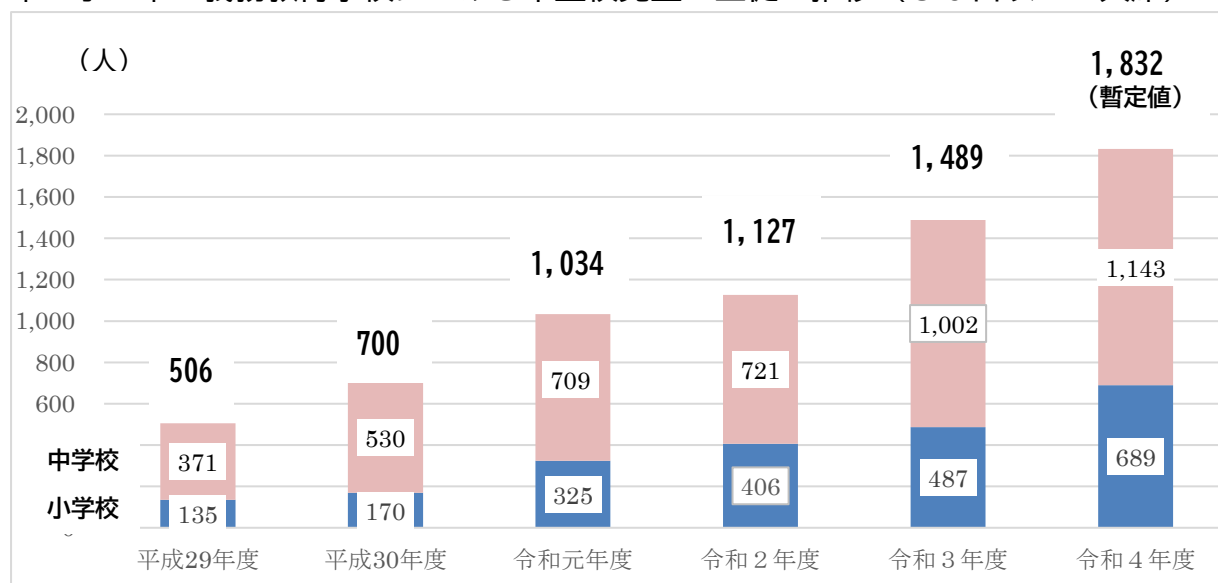
（4）未来につながる～社会的自立をめざした中・長期的支援～

不登校の子どもや保護者の「将来不安」に寄り添い、義務教育修了時の進路選択を最後まで支援します。

- ・不登校生徒を対象とした職場体験の実施 など

【参考】

市立小・中・義務教育学校における不登校児童・生徒の推移（30日以上欠席）



<問い合わせ>

学校教育部教育指導課統括指導主事 狩野（かのう）

電話042-620-7412